

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
茶道		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
荒井 佳子 (茶名 宗佳)			授業中に指示します	
授業の概要				
①茶道を通して日本の伝統文化を理解する。②茶道の歴史、実技（点前、作法等）、茶のこころ（和敬清寂・利休七則）を学ぶ。③亭主と客の交流による思いやりや感謝の心を学び、社会生活上のルール、マナー等社会人としての基本理解し、実践できるようにする。④季節感を大切に感性を磨き、心の豊かさや美しい立ち居振る舞いを身につける。				
授業の目標				
①薄茶平点前、客の作法ができるようにする。②茶道の基本精神である「和敬清寂」「一期一会」の四文字について説明できるようにする。③実技を通じて、お茶やお菓子のいただき方、お箸の持ち方、その他美しい立ち居振る舞いや、おもてなしのコミュニケーション能力等、社会人としての基本を身に付ける事ができるようにする。④天明釜（佐野市）を鑑賞し、歴史や茶道における位置、格付け、現状を説明できるようにする。⑤季節のお菓子や床の間に花を生ける事により、四季の移り変わりの素晴らしさを体感し、説明できるようにする。				
授業の方法				
①茶道の歴史（天明釜を含む）、基礎知識、茶のこころなどは体系的に理解できるように講義や実技を通して説明します。②実技（点前作法、客の作法等）は反復稽古し、模擬茶会などを取り入れて個々人の茶道の実践力が習得できるように取り組みます。				
学習の成果（学習成果）				
①点前・客の作法を習得できる。②対人関係（礼儀作法）や社会形成能力（おもてなしや感謝の心）を培い、和敬清寂の精神を体得し、感性豊かな国際人として自国文化（茶道）を再確認する事ができる。③天明釜（佐野市）について、体験し、知識を深め、地域の伝統文化を理解し、茶会や茶道ボランティア活動に協力、貢献できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明	実技一立礼、座礼について、席入り		
第2回目	茶道のこころ（和敬清寂）・道具の説明と扱い	実技一点茶、客の心得		
第3回目	茶道のこころ（利休七則）	実技一（割稽古）帛紗さばき、棗・茶杓・茶碗の清め方、茶筌通し		
第4回目	茶道の歴史	実技一盆略点前		
第5回目	茶道の基礎知識（茶室、露地、水屋）	実技一薄茶平点前（柄杓の扱い）		
第6回目	茶道の基礎知識（道具、茶花、）	実技一薄茶平点前、茶花を生ける		

第7回目	天明釜についての講話—天明鑄物師 若林秀真氏	実技—薄茶平点前	
第8回目	和菓子について	実技—薄茶平点前	主客の作法
第9回目	利休の逸話	実技—薄茶平点前	水指の扱い
第10回目	茶人の話	実技—薄茶平点前	正客、詰めの役割
第11回目	茶の裂地	実技—薄茶平点前	茶碗の運び方（古帛紗の扱い）
第12回目	茶陶	実技—薄茶平点前	水屋の心得
第13回目	香について	実技—薄茶平点前	香を聞く体験
第14回目	茶事について	実技—薄茶平点前	総仕上げ
第15回目	修了茶会		
事前・事後学習	事前学習—シラバスに基き教本で予習する。 事後学習—講義・実技内容を整理し確認する。		

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	受講態度（出欠）・意欲・茶道に対する興味関心等取り組む姿勢
レポート	20%	詳細は講義時に説明する。
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	実技試験30% 筆記試験20% 詳細は講義時に説明する。
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教科書：裏千家茶道（一般財団法人茶道裏千家今日庵発行） 970円

履修上の留意点・ルール

実技中心の科目であるので受講に対する心構えが大切です。欠席や遅刻をせず、帛紗セットや白靴下等を忘れず、服装を整えて緊張感を持って、授業に臨む。私語は慎む。和菓子・抹茶代後期分3,700円を徴収します。